

臨床研究 「若年成人のB型肝炎細胞がんの実態調査」 研究協力についてのお願い

東京大学医学部附属病院感染症内科・消化器内科では、肝臓病の診療にあたっては、全国の施設との共同で標題の臨床研究を実施しており、旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科も研究協力をしております

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究対象

(1) 2011年から2014年に受診されたB型肝炎の人のうち最初に受診された時の年齢が40歳未満の方

(2) 2005年から2014年に肝細胞がんと診断された人で(1)肝細胞がんの原因がB型肝炎と考えられた人、(2)肝細胞がんと診断された時の年齢が40歳未満、の2つの条件を満たす方

② 研究の意義・目的・方法

小児期、ことに1歳までにB型肝炎に感染した場合、高率に慢性化します。慢性化した場合最終的にはその2-5%の方が肝細胞がんに進展します。その多くは50歳以降に発生しますが、中には30歳台までに発見される場合もあります。こうした若年発症の肝細胞がんの実態は明らかになっていません。どのような方が若年で発症する方かも解明されていません。

2014年9月より、小児期のB型肝炎・C型肝炎の病態を明らかにすることを目的とする厚生労働省の研究班（小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠等の集積等に関する研究）が、発足しました。この研究班で上述した小児期のB型肝炎細胞がんの実態を調査することになりました。

この研究は皆様方のカルテから生まれた年月（日は使いません）、性別、家族歴、肝機能、ウイルスマーカー、肝炎に対する治療内容、肝細胞がん診断時の年齢、その時の検査成績などを抜き出し、まとめることにより行います。従ってこの研究のために皆様をお願いすることは何もありません。

研究への参加をお願いするのは肝臓専門医のいる全国約130箇所の病院です。500名の患者さんのカルテ調査を予定しています。研究実施期間は承認日から2019年7月までの5年間を予定しています。

全国から頂いた調査の結果は東京大学および愛知県がんセンターでまとめて解析を行います。解析に先立って皆さんの氏名、生年はどの情報が誰のものかわからない

ようにします。解析した結果は厚生労働省に報告すると共に、学会、学術誌に発表する予定ですが、この際に個人が特定されることは一切ありません。

なお、この研究に御協力頂くにあたってあなたへの謝金はありません。

- ③ 研究機関名・研究責任者 旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科
助教 澤田 康司
分担研究者 旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科
医員 長谷部 拓夢
旭川医科大学 救急科
助教 中嶋 駿介

- ④ 保有する個人情報に関する利用目的

若年（40歳以下）で発症する肝細胞がんの臨床像を明らかにするための研究

- ⑤ 保有する個人情報の開示手続き

あなた個人の情報に関してはお申し出があれば診療の中で説明が可能です。また、全体の検査結果については研究終了後に開示が可能です。

本研究に関する問い合わせ、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記までご連絡くださるか、「不同意確認書」に記名してご提出ください。不同意確認書はこのページからダウンロード可能です。また消化器内科・感染症内科の診察室にも置いてあります。不同意の場合でも、診療上であなたが不利益を受けることは一切ありません。なお、提出期限は2017年6月30日までと致します。

<保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先>

旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

担当者：消化器・血液腫瘍制御内科・澤田康司（連絡先：0166-68-2462
内線 2462）